

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市錦ヶ丘児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人 みやぎ・せんだい子どもの丘	
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 37,250人(前年度比 115.6%) 令和3年度 32,227人 令和2年度 32,874人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 68,233千円 (70,343千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。	

### 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ブログの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。 なお、職員における虐待や不適切な対応を防止する取り組みについてのマニュアル「児童厚生員の倫理 コンプライアンス」を整備し、職員会議やOJTを開催して職員間で周知共有、子どもの人権に十分に配慮するとともに、子ども一人ひとりの人格を尊重して支援が行われている。	19/18

### 三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人 みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》
<p>今年度は十分な話し合いと対策を重ねながら、少しずつ行事を復活させることが出来ました。自由来館の方にも気軽に来いただけるよう周知に努めました。子どもの遊びの準備に力を入れて、一日の最後が楽しく終えられるよう配慮しました。</p> <p>(1) 放課後児童健全育成事業 遊びの中で社会性を学ぶことを念頭に置いて子ども達に寄り添い、退屈しないように様々な種類の遊びを用意しました。縦割りのクラス編成にすることで低学年と高学年の関わりをもつ機会を増やし、お互いが良い影響を受けられるように活動を工夫しました。特に、集団遊びや大きな行事では大人数の児童館ならではの活動が出来ました。支援の必要な子どもには、環境の構造化を図り、一人一人に十分な配慮を心掛けました。</p> <p>(2) 児童健全育成事業 影絵劇団「つきのえ」やコラボ企画「児童館を飾ろう」などで小学生と中学生が交流する機会をもつことが出来ました。更に、児童館まつりを開催できたことは大きな喜びでした。自由来館の子ども居場所を用意し、仲間の輪を広げることが出来ました。</p> <p>(3) 子育て家庭支援事業 乳幼児親子の自由来館が少しずつ戻り、保護者の話し相手になったり、また活動内容も子どもの年齢に応じた楽しい企画になるように配慮しました。定期事業としては「幼児クラブ」や「お話し会」など、継続した活動の提供が出来ました。毎回人気の「おんぷっパ♪」では生演奏でリズムに合わせて身体を動かしたり、また幅広い年齢に楽しんで頂けるように内容を考えました。</p> <p>(4) 地域交流推進事業 地域の花火大会のポスター作りを実施したり、クリスマスに近くの保育所に手作りのクリスマスプレゼントを届けました。錦ヶ丘小学生と中学校とで緩やかに手を繋いで情報交換をしながら、子ども達を見守ることが出来ました。今年度初めて、近くの諏訪神社に出かけて神社の歴史や文化に触れることができ学びに繋がりました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、中高生が自由来館、行事参加等、日常的に利用している。中高生の利用時間を設定せずいつでも気軽に立ち寄れる事が要因の一つとなり利用者が増加している。また造形活動が盛んに行われており、特に影絵劇団「つきのえ」は今年度中学生がメンバーに加わり、年間を通して発表に向けて子ども達が主体的に活動し、異年齢集団が創作活動を通して交流し社会性や主体性を育んでいる。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、地域の乳幼児親子の交流の場「ママクラブ Fika」はリピーターも多い。「ママクラブ Fika」の交流を通してリズムやおはなし会等の定例行事に参加する等、地域の子育ての拠点としての役割を果たし多様な取り組みで地域の子育て家庭を支援している。</p> <p>地域交流推進事業においては、今年度初めて子ども達が地域の神社を訪れ、氏神様の存在を知り、触れ親しむ機会を提供した。また子育て支援クラブ「にしきりん」の定例会参加や事業のサポートを行い地域の子育てのネットワーク構築に尽力し、子ども達は地域からの依頼を受けて花火大会のポスターを作る等、児童館が積極的に地域と関わり地域の方が応援してくれる関係作りが出来ており、影絵劇団「つきのえ」の地域での発表の場の再開等、広がりが見込まれる。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、主体的な遊びや生活が可能となる事をねらいとして子どもスタッフの希望者を募り、アイデアや意見を出しながら自主的に活動した。児童館まつりの当日のサポートや行事の準備、ルールのある遊びの審判、夏休みは乳幼児親子の活動のサポートをして乳幼児親子と交流する等、子どもスタッフの活動は異年齢や地域との交流を通して子ども達の活躍の場となり、自己有用感や自己肯定感が育まれた。また子どもの居場所や過ごし方に細かい配慮がなされており、過ごし場と時間を設定し可視化する事で子ども達が見通しを持った生活を過ごしている。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課